

吉田 耕一 (新政会)

坂出港西運河の改修工事について

質問 西運河の安全を確保し、本来の目的のために有効活用ができるよう、海底のしゅんせつを行うと同時に傷んだ施設の修繕を行う必要性を強く感じるが、市の見解は。

答弁 ……都市建設部長

西運河は、昭和22年から31年にかけて運河の拡張や係留施設の建設を行ったものであり、既に50年以上の歳月が過ぎ、老朽化と埋没が相当進行している地区であります。これまでに、利用者から維持しゅんせつや物揚場の改良に対する要望を受けていますが、改善を図れていないのが実情です。

なお、坂出港を母港にし、西運河地区に係留している四国地方整備局保有の清掃兼油回収船「わしゅう」の後継船の建造が平成21年度補正予算で認められ、平成22年度までの2カ年で建造することになり、その建造にあわせて、新たな係留施設や航路しゅんせつ等の事業が見込まれることが、最近の港湾空港の情報新聞に掲載されました。
現時点では工事の範囲は不明ですが、当該地区内での国の直轄事業について、今後の進展に大きな関心を持っていくところです。

坂出港の管理の今後の展望について

質問 今後、市は、坂出港にどのような展望をもって、港湾行政に臨んでいくのか。

答弁 ……都市建設部長

坂出港は今も四国を代表する港湾として立派に機能していますが、公共埠頭の整備については、平成2年度の阿河浜埠頭と平成3年度の松ヶ浦埠頭の完成以後、新たな事業を行っていません。

これからの坂出港には、施設の老朽化対策や泊地の埋没対策などの既存施設の維持補修、グローバル化に伴い国際競争力を維持・強化するための船舶の大型化に対応した施設整備や埠頭の再編、臨海部の開発、市民と港の関わり強化など、様々な課題があります。

このような課題に対処していくには、管理事務の向上が、そして、港湾の維持・開発には膨大な費用が伴うことから財務体質の強化も、重要な要因になると思っています。

坂出港の発展は、香川県の元気につながるほどの広域性と規模を有しています。これからの坂出港には、どのような管理のあり方が望ましいか、香川県としっかり話したいと思っています。

基地対策予算の増額等を求める意見書

基地施設周辺の市町村は、基地所在に伴う諸問題の解決に向けて、鋭意努力しているところである。

しかし、基地関係市町村は、世界的な経済危機に伴う大幅な税収減や、基地所在に伴う特殊な財政需要の増大等により大変厳しい財政状況にある。

こうした基地関係市町村に対しては、これまで総務省所管の固定資産税の代替的性格を基本とした基地交付金（国有提供施設等所在市町村助成交付金）及び米軍資産や住民税の非課税措置等の税財政上の影響を考慮した調整交付金（施設等所在市町村調整交付金）が交付されている。

また、自衛隊等の行為または防衛施設の設置・運用により生ずる障害の防止・軽減のため、国の責任において基地周辺対策事業が実施されている。

基地交付金・調整交付金については、基地所在による特別の財政需要等にかんがみ、固定資産税の評価替えの翌年度において、平成元年度より3年ごとに増額されてきており、あわせて防衛省所管の特定防衛施設周辺整備調整交付金も増額されてきた経緯がある。

よって、国におかれては、基地関係市町村の実情に配慮して、下記事項を実現されるよう強く要望する。

記

1. 基地交付金及び調整交付金については、今年度は固定資産税の評価替えの年度に当たるため、これまで3年ごとに増額されている経緯を十分踏まえ、平成22年度予算において増額するとともに、基地交付金の対象資産を拡大すること。
2. 基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに、各事業の補助対象施設及び範囲を拡大すること。特に、特定防衛施設周辺整備調整交付金については、これまでの経緯を踏まえ、平成22年度予算において増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年7月2日

坂出市議会